

社会資本総合整備計画													防災・安全交付金		令和03年11月24日	
計画の名称	都市公園の防災機能強化と長寿命化の推進（防災・安全）															
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当		○	
交付対象	東広島市															
計画の目標	・ 東広島市地域防災計画の広域避難場所及び救援物資集積場所として位置づけられている東広島運動公園において、施設整備を行うことで、東広島市の防災機能の強化を行い、災害発生時の防災支援活動の拠点として一役を担う。 ・ 公園施設のストックの増大及び老朽化の進行に対し、東広島市長寿命化計画の見直しを行うことで、安全性の確保や機能の確保及びライフサイクルコストの縮減を図る。															
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		950	A	950	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C /（A+B+C+D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R 3 当初	R 4 末	R 7 末
1	広域避難場所に位置づけられている東広島運動公園を整備することで、災害発生時の応急仮設住宅建設可能戸数を186戸（令和3年度）から643戸（令和7年度）に増加する。 東広島運動公園における応急仮設住宅としての建設可能戸数を集計する。 応急仮設住宅1戸あたりの面積を60m2とする。（利用可能面積（m2）÷ 60m2/戸）	186戸	戸	643戸
2	東広島市長寿命化計画の見直しを行い、すべての公園の長寿命化計画策定を行う。 東広島市公園施設長寿命化計画における計画策定実施公園数の割合とする。 （計画策定実施公園数 ÷ 計画対象公園数）× 100%	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	東広島市	直接	東広島市	-	-	都市公園事業（東広島運動公園）	多目的広場、グラウンドゴルフ場等 2.8ha	東広島市	■	■	■	■	■	590	3.09	-	
	A12-002	公園	一般	東広島市	直接	東広島市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画策定（全施設公園数）	東広島市	■	■				200		策定済	
	A12-003	公園	一般	東広島市	直接	東広島市	-	-	都市公園事業（東広島運動公園）（5 か年防公）	グラウンドゴルフ場等 1.4ha	東広島市	■	■	■			160	3.09	-	
												小計						950		
											合計						950			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	121	90	78		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	121	90	78		
前年度からの繰越額 (d)	0	110	62		
支払済額 (e)	10	138	62		
翌年度繰越額 (f)	111	62	78		
うち未契約繰越額(g)	76	40	15		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	62.8	20	10.71		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	事業計画の再検討のため	事業計画の再検討のため	事業計画の再検討のため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 都市公園の防災機能強化と長寿命化の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえた目標の設定がされている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標及び事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な整備が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 新規の施設整備を行う場合、実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○